

参 考 手 本

舟を移して煙渚に泊す

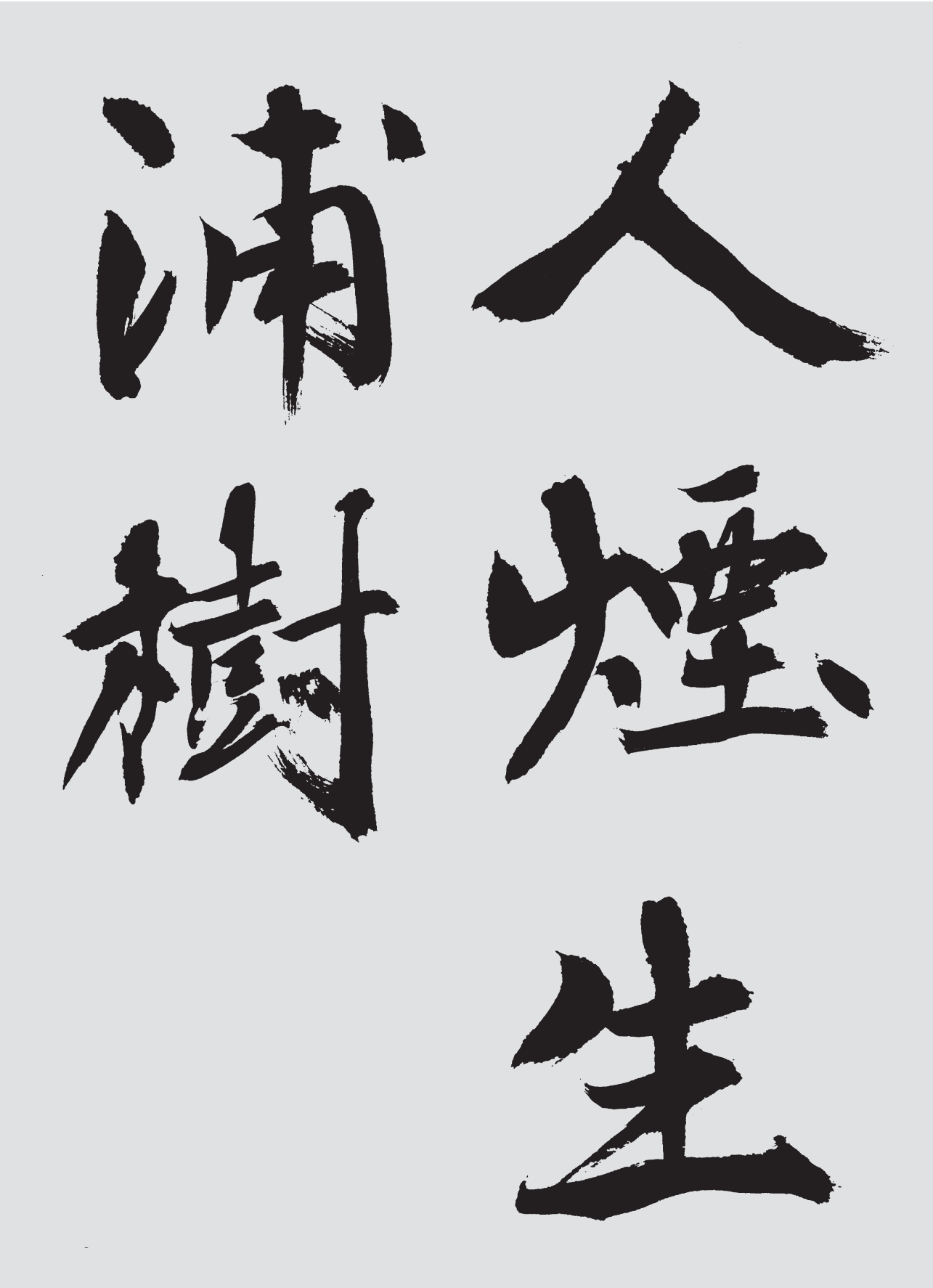
移舟泊
煙渚

成瀬映山先生

※これは規定課題ではありません。

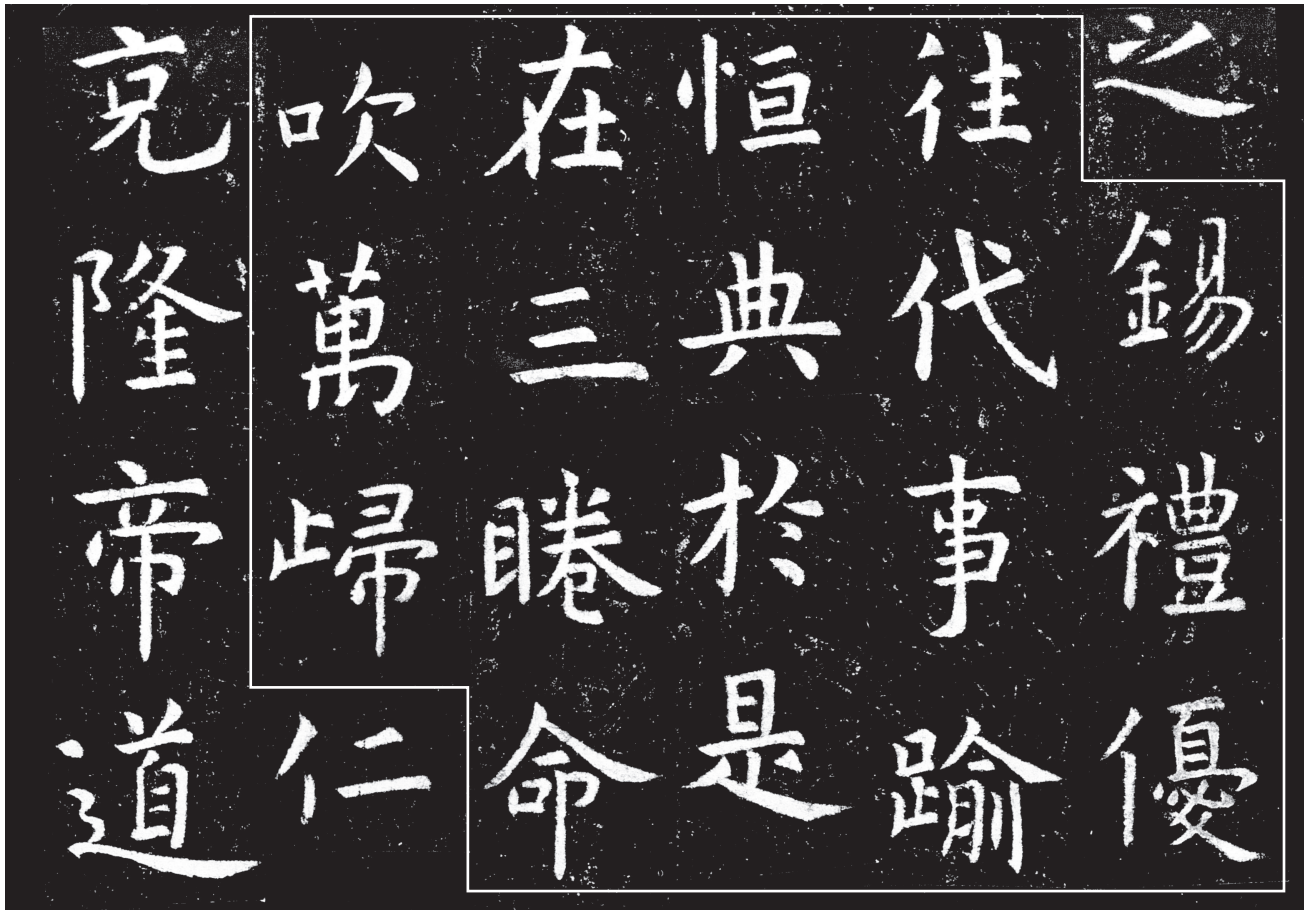
参 考 手 本

人煙浦樹に生ず



※これは規定課題ではありません。

高 木 聖 雨 先生



ぐせいなん
虞世南 (唐) 『孔子廟堂碑』 ⑤

之錫。禮優往代。事踰恆典。於是在
三睦命。吹萬歸仁。克隆帝道。

(の) 錫をもつて、礼は往代に優り、事は恒典
を踰ゆ。是に於いて在三に睦命し、吹方に帰
仁す。克く帝道を隆め、

(朱戸渠門) の賜わりものなど、すべて聖人の帝位の象
徴を併せもつて、儀礼は過去に優り、事跡は常法を越え
ておられた。このように聖徳を備えた皇帝陛下は、父師
君主に仕えるように天に対して恭順であれば天もいつく
しみを下し、様々に吹きつける風もみな仁に帰一した。
帝王としての道をよく高め、

【今月の課題】

「錫禮優往代事踰恆典於是 在三睦命吹萬歸」(18字)

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く
段・級を記入してください

(10月10日締切)

条幅規定 ②

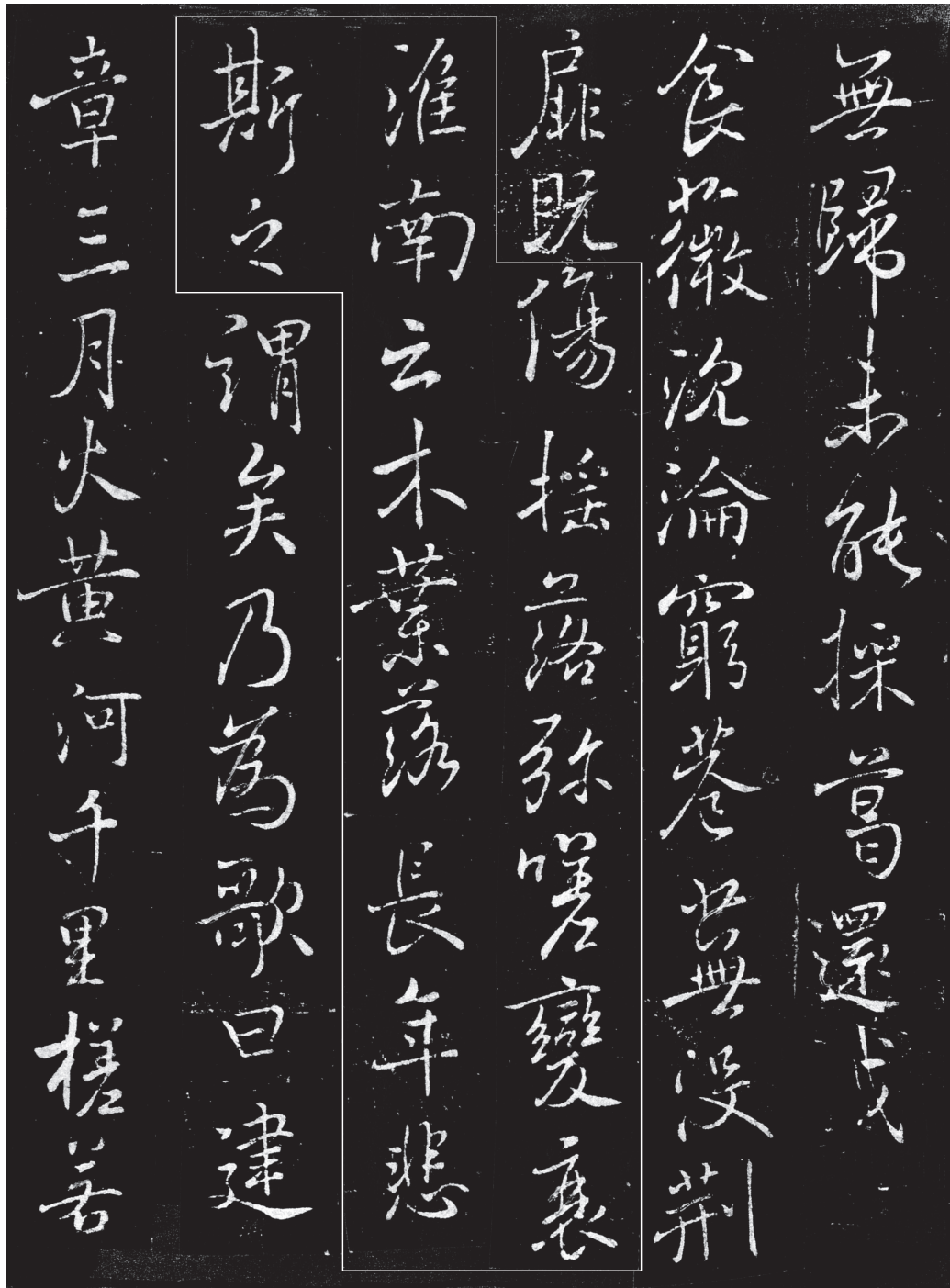
B部 (四段以下)

『枯樹賦』

楮遂良

(唐)

②



無歸。未能採葛。還成

食薇。沈淪窮巷。蕪沒荆

扉。既傷搖落。彌嗟變衰。

淮南子云。木葉落。長年悲。

斯之謂矣。乃為歌曰。建

章三月火。黃河千里槎。若

歸る無く、未だ葛を採る能わ
 ず、還た薇を食すを成すをや。
 窮巷に沈淪し、荆扉に蕪没
 し、既に揺落を傷み、弥いよ
 変衰を嗟く。淮南子に云う、
 木葉落ち、長年悲しむと。斯
 れ之の謂なり。乃ち歌を為り
 て曰く、建章三月の火、黃
 河千里の槎。若し

【今月の課題】「傷搖落彌嗟變衰淮南采云木葉落長年悲斯之」(18字)

【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・綴を記入して下さい

(10月10日締切)

半紙規定 (二)

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



爾勲福祿攸

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)

既に爾の勲を定むるに福祿の同まる攸たり

人之德上及太



※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隷書

〔二級以下〕楷書

聖人の徳、上は太清に

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕
(10月10日締切)

条幅参考手本

厲響思清晨 遠去何依依
 因植孤生松 斂翮遙來歸

厲 跡

板垣厲跳先生

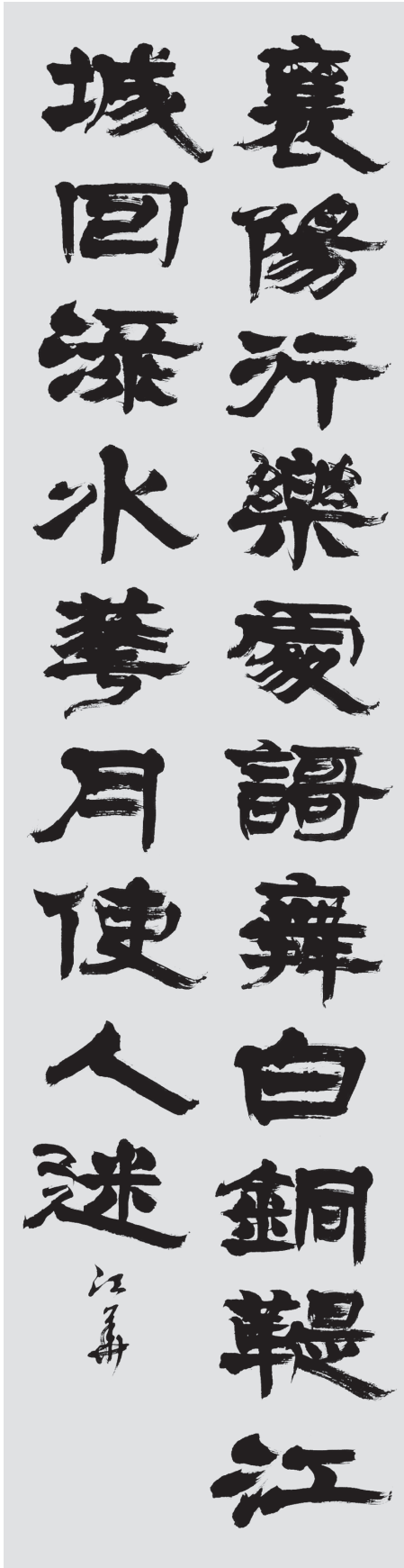
厲響思清晨 遠去何依依 因植孤生松 斂翮遙來歸
 厲響清晨を思ふ 遠去何ぞ依依たる 孤生松を植うるに因つて 翮を斂めて遙かに來歸す

渡辺久美先生

對酒不覺暝 落花盈我衣
 醉起步溪月 鳥還人亦稀

對酒不覺暝 落花盈我衣 醉起步溪月 鳥還人亦稀
 酒に對して暝を覺えず 落花我が衣に盈つ 醉起步溪月に歩すれば 鳥還つて人も亦稀なり

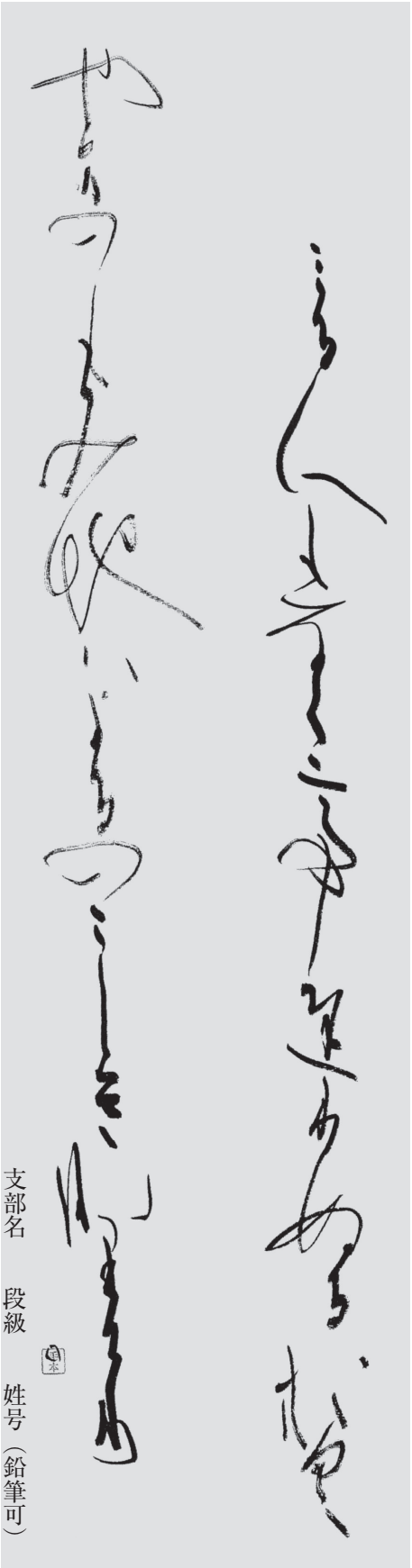
条幅参考手本



細野江華先生

襄陽行樂處 歌舞白銅鞮 江城回淥水 花月使人迷
 襄陽行樂の処 歌舞白銅鞮 江城淥水回り 花月人をして迷わしむ

条幅かな



浮乗清郷先生

見人もなくて散りぬる奥山の紅葉はよるの錦なりけり (紀貫之)
 三 見人(ひと)もなくて散(ち)りぬる奥山(おくやま)の紅葉(もみぢ)はよるの錦(にしき)なりけり (紀貫之)
 奈 帝 運 利 於其(その)万(もみぢ)八 (二しき)那里(こゝ)个(こゝ)利

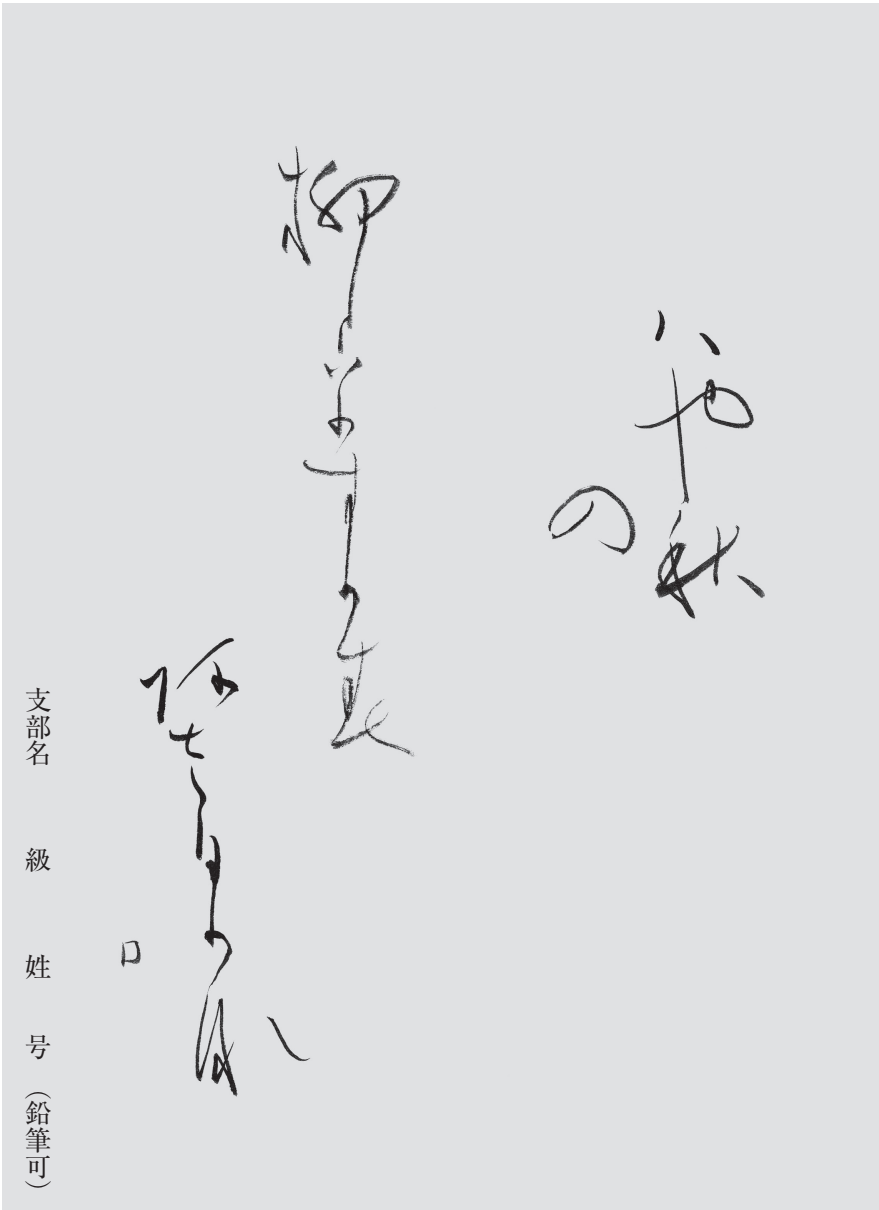
※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。

支部名 段級 姓号(鉛筆可)

(10月10日締切)

半紙かな（1級以下）

八はや秋の柳をすかさすあさ日かな（夏目成美）
可春阿可那



支部名 級 姓 号（鉛筆可）

※ちらし文字変換は自由

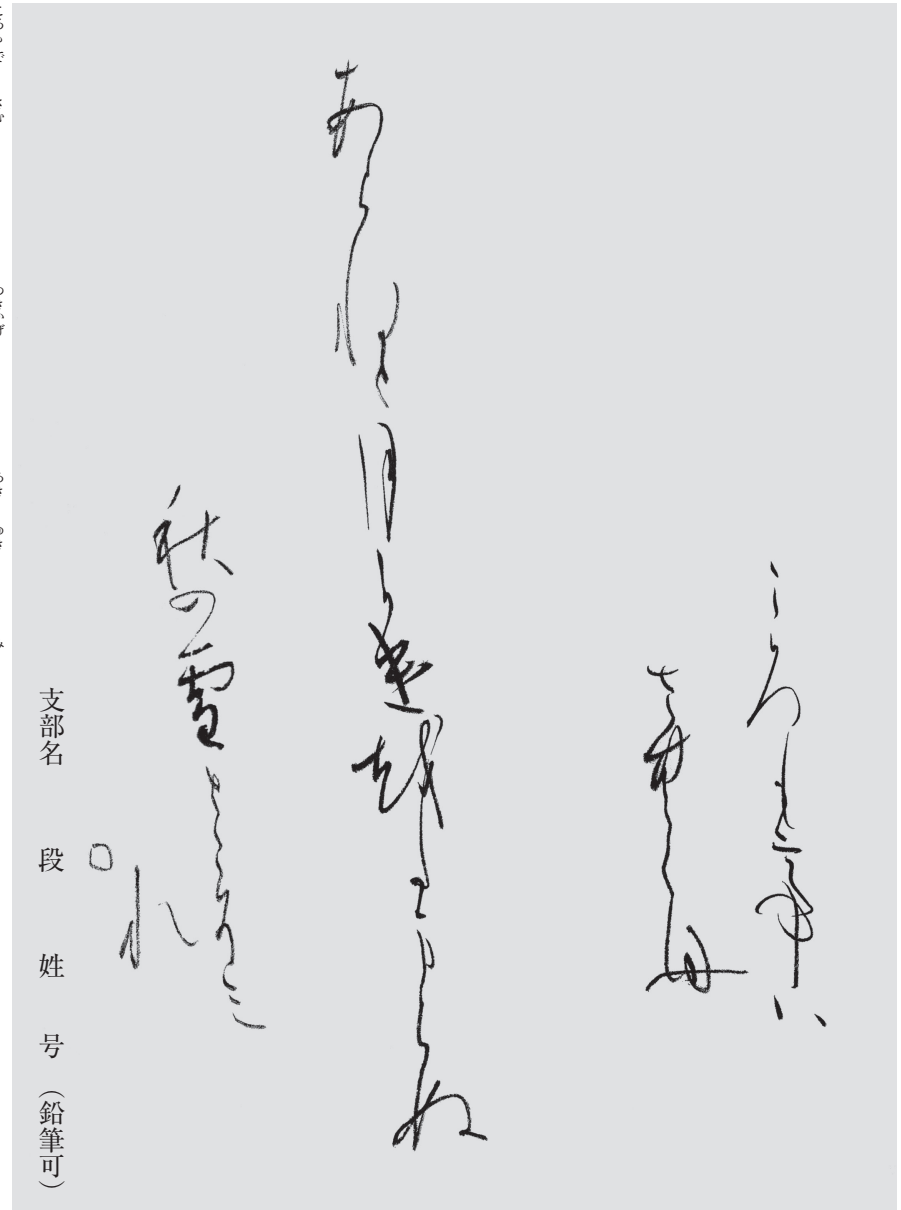
※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

半紙かな（初段以上）

衣手は寒くもあらねど月影をたまらぬ秋の雪とこそ見れ（紀貫之）
可遠越多万

小林素水先生

※ちらし文字変換は自由



支部名 段 姓 号（鉛筆可）

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

(10月10日締切)

浮乗清郷先生

実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

その生涯を中へ小島らは一っの
歌をうたひ暮す単調に美し
く疑ふ勿水黙す勿れと曰
とて与へられたこの命を――
支部名 段級 姓号

鈴木 翡翠 恵 先生

(10月10日締切)

細 字

※一級〜八級は草書まで。

初段以上は隷書まで。

※名前は楷書以外では違反になります。

17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

支 部
段 級
(名前は必ず楷書で書くこと)

姓

号

關	関	關	關
西	西	西	西
京	京	京	京
阪	阪	阪	阪
官	官	官	官
廳	廳	廳	廳
勤	勤	勤	勤
務	務	務	務

(10月10日締切)

硬筆（1級以下）

2行、楷書

仕事に生き、甲斐を感じれば、日々
の生活にリズムがでてくる。
支部 級 姓 号

田 辺 翠 鶴 先 生

硬筆（初段以上）

3行、行草書

…暮れる…庭…果物…季節…感じ…。

日が暮れると少し涼しくなり、庭の
草木やお店に並ぶ果物なども秋色
に。季節の移ろいを感じます。
支部 級 姓 号

青 柳 江 雲 先 生

※本院定型用紙・たて半分に書く

(10月10日締切)

中2用

支部名
段級
名前

紅葉実
る秋

渡邊南嶂先生

中3用

支部名
段級
名前

空想の
世界

大越三宗先生

小6用

支部名
段級
名前

の月
海夜

渡邊南嶂先生

中1用

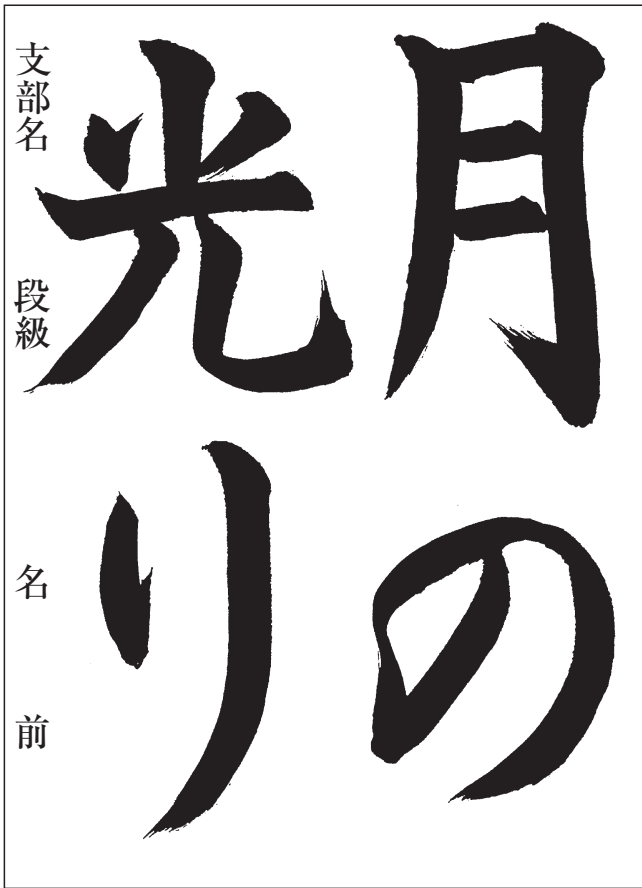
支部名
段級
名前

の雲
夕映え

渡邊南嶂先生

10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題（10月15日締切）

小4用



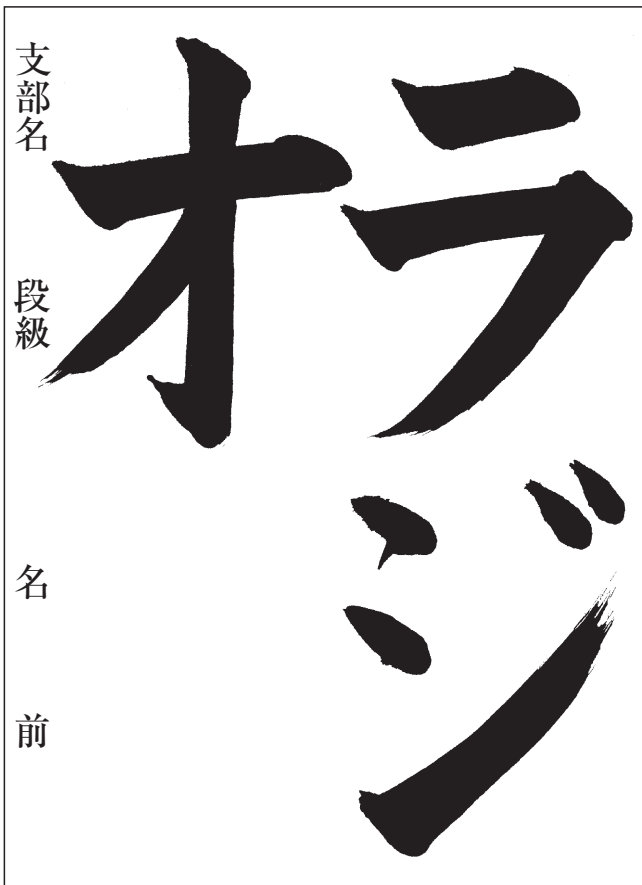
大越三宗先生

小5用



大越三宗先生

小2用



鈴木翡翠先生

小3用



鈴木翡翠先生

10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題 (10月15日締切)

中1

書き終えた手紙は、折る前にもう一度読もう。

中1~中3

中2

目標を立て、達成のため、に工夫と努力をする。

青

柳

中3

日本は落葉樹の種類が多いので紅葉が美しい。

雲

先生

小1・幼年用

かき

支部名

段級

名

前

鈴木 蕙 先生

小1・幼年

みかづきのかたちをかいてみました。

小1~小3

小2

九月に入ると、そらがたかく見える。

鈴木

木

蕙

小3

本間くんからすす虫をニひきもらった。

翠

先生

小4

休みの日、楽しみにしていた魚つりをした。

小4~小6

小5

ススキが秋風にそよいで銀色に光っている。

田

辺

翠

小6

秋は文化祭や遠足など行事がたくさんある。

鶴

先生

10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題 (10月15日締切)

小学部小筆課題

中学部かな課題

船久保 棠苑 先生

人声や

この道
かつる秋のしづめ

支部名 段級 名前

主幹 菅野翠濤

星空に

十五夜の月

支部名 段級 名前

10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題（10月15日締切）

11月10日締切課題予告

A部条幅規定 丕承鴻業明玉鏡以式九圍席蘿圖而御六辯

B部条幅規定 謂矣乃爲歌日建章三月火黃河千里槎若

かな条幅規定 しぐれつる木の下の露は音づれて山路の末に雲ぞなり行く（宮内卿）

半紙規定（初段以上） 同封弟叔振

半紙規定（二級以下） 清下及太寧

半紙かな（初段以上） 都にてめづらしとみる初雪は吉野の山にふりやしぬらむ（源景明）

半紙かな（二級以下） 一枝の濃紫ひしなせる紅葉もみぢあり（竹下しづの女）

11月10日締切学生部課題予告

中三規定 万里の長城 中三硬筆 国際的な視野を持つ人間に成長してほしい。

中二規定 野山の自然 中二硬筆 昨夜の強風もおさまり今朝は青空になった。

中一規定 中庭の草花 中一硬筆 読書、スポーツ、芸術食欲の秋でもある。

小六規定 落葉の山 小六硬筆 秋風が、今年も木の葉を鳴らしています。

小五規定 水の利用 小五硬筆 秋に入ったら、雨の回数が多くなってきた。

小四規定 夕ぐれ時 小四硬筆 ふく風に、さわやかな秋の色が感じられる。

小三規定 友だち 小三硬筆 夕日をあびて、雲が赤い色にそまっている。

小二規定 イギリス 小二硬筆 青い空には、お日さまがかがやいている。

小一規定 はな 小一硬筆 ゆうやけぞらが、いっぱいひろがる。

中学部かな あらし吹く草の中より今日の月

小学部小筆 秋深し 山道歩く